

## 地域活性化伝道師プロフィール

分野	地域産業・イノベーション・農商工連携	◎	農・林・水産業						
	地域医療・福祉・介護・教育		観光・交流	○					
	地域コミュニティ・集落再生	◎	環境						
	地域交通・情報通信	○	まちづくり	○					
ふりがな	たまむら まさとし								
氏名	玉村 雅敏								
所属	名称	慶應義塾大学 総合政策学部							
所属	役職	教授							
連絡	住所 (職場)	〒252-0882 神奈川県藤沢市遠藤 5322							
	連絡先	e-mail	tama[アットマーク]sfc.keio.ac.jp						
		TEL -	FAX -						
連絡方法	E-Mailでお願いします								
略歴	慶應義塾大学総合政策学部卒業。慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科博士課程、千葉商科大学政策情報学部助教授、慶應義塾大学総合政策学部准教授を経て現職。博士(政策・メディア)。地域活性化伝道師(内閣府)、JICA 業績評価アドバイザー、地域力創造アドバイザー(総務省)、地方創生 SDGs 課題解決モデル都市専門家(内閣府)、天草市、長島町、大崎町、大山町、東川町、壱岐市、鶴岡市、鎌倉市、そうしん地域おこし研究所などのアドバイザー等を兼務 兼務歴:新潟市都市政策研究所・政策改革本部アドバイザー、横須賀市政策研究専門委員、鈴鹿市・市原市・氷見市・藤沢市などのアドバイザー等 慶應義塾大学では、SFC 研究所「社会イノベーション・ラボ」代表、SFC 研究所「場づくりマーケティング・コンソーシアム」「シェアタウン・コンソーシアム」「VCOM コンソーシアム」代表などにも従事。 専門分野は、公共経営、ソーシャルマーケティング、評価システム設計、コミュニティ論、公共選択論など。								
著作・論文等	『自治体経営の生産性改革—総合計画によるトータルシステム構築と価値共創の仕組みづくり』(公人の友社、2021: 編著) 『SDGs の本質—企業家と金融によるサステナビリティの追求』(中央経済社、2020:共著) 「連載:自治体 SDGsとグローバル戦略による地方創生」『地方行政』(時事通信社、2018~2019:共著) 『ソーシャルパワーの時代—「つながりのチカラ」が革新する企業と地域の価値共創(CSV)戦略』(産学社、2016:編著)								

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。

	<p>『東川スタイル—人口8000人のまちが共創する未来の価値基準(スタンダード)』(産学社、2016:編著)</p> <p>『総合計画の新潮流—自治体経営を支えるトータル・システムの構築』(公人の友社、2014:編著)</p> <p>『社会イノベーションの科学—政策マーケティング・SROI・討論型世論調査』(勁草書房、2014:編著)</p> <p>『ソーシャルインパクト—価値共創(CSV)が企業・ビジネス・働き方を変える』(産学社、2014:編著)</p> <p>『地域を変えるミュージアム—未来を育む場のデザイン』(英治出版、2013:編著)</p> <p>『公共の経済・経営学—市場と組織からのアプローチ』(慶應義塾出版会、2012:共著)</p> <p>『住民幸福度に基づく都市の実力評価—GDP志向型モデルから市民の等身大ハッピネス(NPH)へ』(時事通信社、2012:共著)</p> <p>『コミュニティ科学—技術と社会のイノベーション』(勁草書房、2009:編著)</p> <p>『行政マーケティングの時代—生活者起点の公共経営デザイン』(第一法規、2005)</p> <p>『学校評価—情報共有のデザインとツール』(筑摩書房、2005:共著)など。</p>
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体の地域戦略の立案・推進や官民連携モデルの構築支援、SDGsやグローバル戦略、企業のソーシャルマーケティング戦略やCSV戦略の立案、社会インパクト評価、生活価値や幸福度の評価手法開発、地域マイレージ、ミュージアムマーケティング、学校評価、政策マーケティング(青森県・東海市等)、ぶり奨学プログラム(長島町・氷見市・大崎町)、スポーツによるまちづくりなどのシステム設計を手がける</li> <li>・全国各地にて、実効性のある総合計画の構築や、トータルマネジメントシステムの構築、計画群の総合化など、自治体経営のシステム構築に従事</li> <li>・地域の生活課題や生活価値、幸福度などを、関係者協働で調査し、その「みえる化」と「共有化」から協働・共創を促すシステム構築を支援</li> <li>・公共施設のリノベーションや、ミュージアムや図書館等の文化・観光施設、企業のコミュニケーション施設の基本構想検討を支援</li> </ul>
メッセージ	全国の自治体や金融機関と連携して地域活性化や地方創生に資する社会システムの構築と実践を推進しています。
関連ホームページ	<a href="http://www.tamamura.org/">http://www.tamamura.org/</a>
活動エリア	全国

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。